

映文連が技術セミナー

映像制作におけるIP伝送

広い視点で最新動向を考察

映像文化製作者連盟 (映文連) は、技術セミナー「映像製作におけるIP伝送最前線」(Z。特にIPによる映像伝送)を12月15日に開く。

コロナ禍の影響もあり、今回は、最新の技術ソリューションから実際の映像制作の手法やビジネスの構築も大きく変化している。

今回は、最新の技術ソリューションから実際の映像制作の手法やビジネスの構築も大きく変化している。

ホ前専務理事)

CRIが「2021年ケーブルマン」 高田社長らを選出 12月9日に記念講演会と贈呈式

「ケーブルマン・オブ・ザ・イヤー」は、CATV業界の発展に貢献された、業界関係者(個人・団体)を対象にした表彰制度で、今年で34年目を数える。

「ケーブルマン・オブ・ザ・イヤー2021」▽高田光浩氏(ケーブルテレビ代表取締役)▽JCOM「東京2020パラリンピック放送プロジェクト」

【特別賞】▽トム・ペリ

【会場】日本プレスセンタービル(東京・内幸町) 10階ホール

【参加費】5000円

【申し込み・詳細】www.cri-info.jp/2021115-6219.html

表技協が「第5回羽倉賞」表彰式

理化学研究所のAI認識 空間音響技術が最優秀賞

最先端表現技術利用推進協会(表技協)主催による「第5回羽倉賞」の表彰式が11月18日、東京都港区の品川インターシティホールで開かれた。

「FORUM8 デザインフェスティバル2021」(フォーラムエイト主催)内で実施された。

羽倉賞は、表技協の創設者の1人である故・



受賞者と表技協の関係者

「取り組み」を通して社会に貢献した功績を表彰している。

最優秀賞「羽倉賞」には、理化学研究所革新知能統合研究センター音楽情報知能チームのAIジェスチャー認識「Sound Scope Phone」を生かした空間音響技術が選ばれた。

同技術は、曲の中で特

に集中して聴きたいパートを自由に強調。パート数が増える、個々の映像比較再生システムが選

開始(約1時間/延長の場合あり)

【受講方式】Zoom(定員100人)とフェイスブックライブで実施

【申し込み】us2web.zoom.us/webinar/register?rwn=WH19PR1MhA087Yc3aw(Zoom) www.facebook.com/lumexlap

「映像新聞」追加送付サービス

定期ご購読者のリモートワーク先へ
ご好評につき提供期間を延長

昨今、在宅勤務やテレワークが進んでいることを受けて、弊社では定期購読者様向けに、ご自宅やリモートワーク先でも映像新聞をお読みいただけるよう、追加送付サービス(無料)を実施しておりますが、ご好評につき、提供期間を延長(期限未定)いたします。引き続きサービスをご利用ください。

追加送付のお申し込みは、弊社ウェブサイトのみからの受付となります。

この機会に、映像新聞をさらにじっくりとお読みいただけましたら幸いです。

お申し込み = www.eizoshimbun.com

映像新聞社